

富まちミーティング【多世代交流拠点編②】

令和3年7月4日（日） 10時～

富まちミーティング【多世代交流拠点編】の進め方

【多世代交流拠点編①】

2021年4月3日（土）

- ・多世代交流拠点施設がどんな場になってほしいか
- ・多世代交流拠点施設をどうすれば人が集まるか

済

【多世代交流拠点編②】

2021年7月4日（日）

- ・多世代交流拠点施設での活動の展開イメージについて
- ・「多世代」が「交流」するためのしかけ（空間のつくり方、きっかけ）

【多世代交流拠点編③】

2021年8月頃

- ・施設ゾーニング（どの位置にどの機能があるとよいか、機能間の関係性等）について
- ・施設の空間・使い方イメージ（利用者を想定した運用ルールや時間帯による使い分け等）について

多世代交流拠点施設
基本計画に反映

* 各回の内容は今後変更する可能性があります

富まちミーティング【多世代交流拠点施設編①】の振り返り

日時 : 2021年4月3日(土) 10:00~
会場 : ゆう・ゆうプラザ(人権文化センター)
参加者 : 計14名

主な内容

- 趣旨説明
- グループディスカッション
 - ①どんな場になってほしいか
 - ②どうすれば人が集まるか
- 発表・まとめ



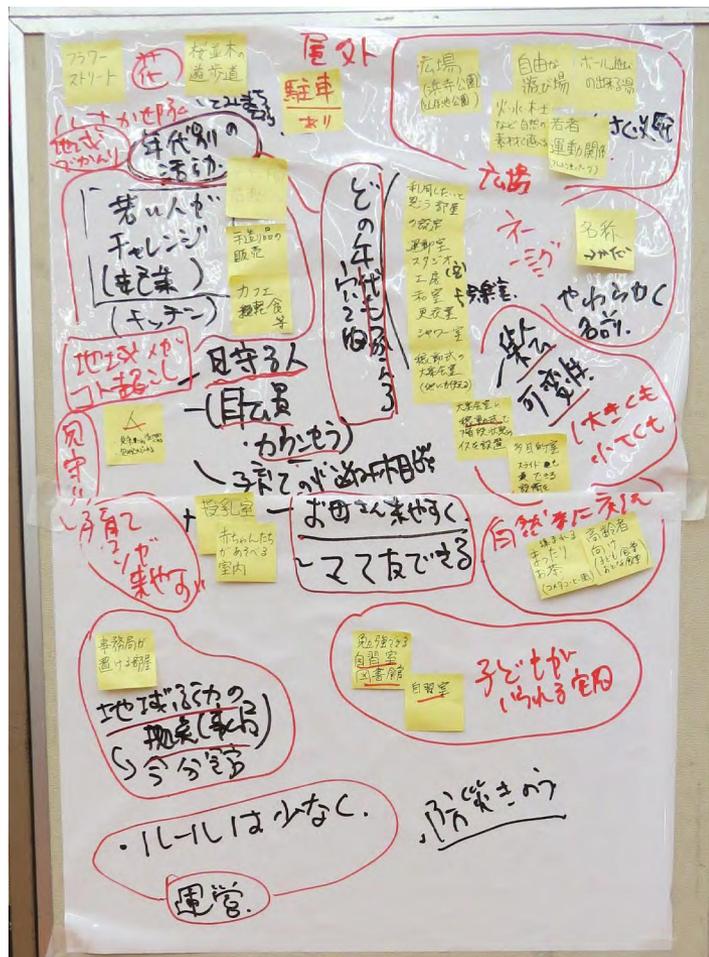
富まちミーティング【多世代交流拠点施設編①】の振り返り

1回目のテーマ

どんな場になってほしいか

どうすれば人が集まるか

【1班】



○どの年代も使える空間

○いろいろな使い方ができる可変性を持った空間

○子ども・若者が集まる空間

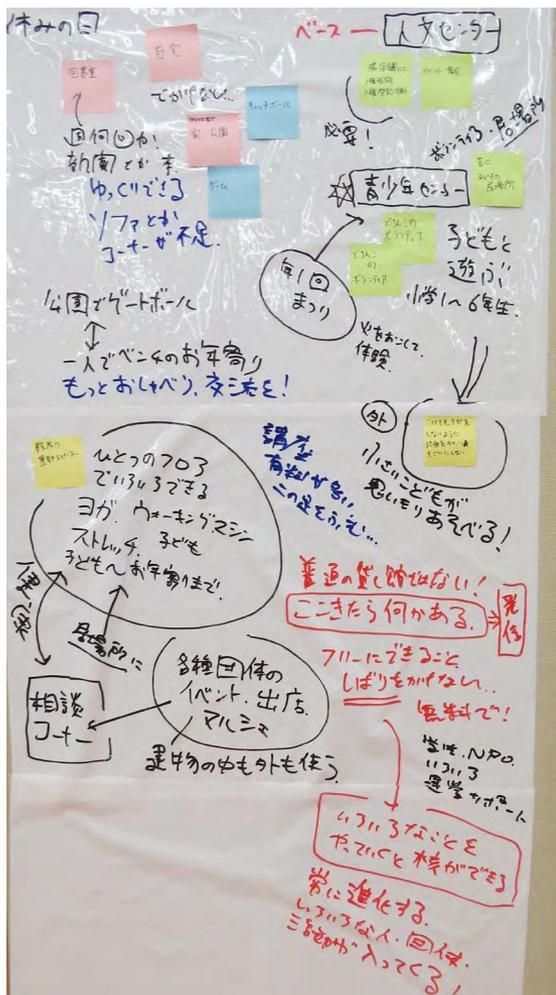
富まちミーティング【多世代交流拠点施設編①】の振り返り

1回目のテーマ

どんな場になってほしいか

どうすれば人が集まるか

【2班】



○ここに来たら何か面白いものに出会える場に

○活動をするのと参加することのハードルが低い、気軽な場に

○常に進化している場に

○和泉市全体から使ってもらえる施設に

富まちミーティング【多世代交流拠点施設編①】の振り返り

1回目のテーマ

どんな場になってほしいか

どうすれば人が集まるか

【3班】



○行けば誰かが居る、誰かに会える場に

○地域の中でも目立つ場に

○誰でも気軽に利用できる場に

○今ある機能を継承、強化できる場に

富まちミーティング【多世代交流拠点施設編①】の振り返り

1回目のテーマ

どんな場になってほしいか

どうすれば人が集まるか

【3班】



○気軽に お茶を飲みに行けるような
団らん・憩いの場

○市民文化ホールの代わりとなる劇場

○子ども達の活動・遊びの場

○「●●映え」スポット

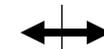
1 回目の意見のまとめ

1 回目のテーマ

どんな場になってほしいか

どうすれば人が集まるか

1 回目で出た意見



施設での想定

訪れたいくなる新たな機能をつくる

…子ども達の新たな遊び場、eスポーツ可能な大画面、写真映えするスポット、相談機能、人権資料の展示など

例えば…

- 大会議室
 - 屋外テラス
 - 相談室
 - 展示スペース
- などを活用

気軽な多世代交流が自然に生まれる空間をつくる

…移動式・可変性のある集会室、新しいものに出会える場、地域の憩いの場など

例えば…

- 地域交流スペース
 - 共用スペース
 - 屋外活動スペース
- などを活用

気軽に利用してもらえる運営体制・ルールをつくる

…常に見守る人がいる体制、NPOや学生による支援、緩やかなルール設定など

多世代交流拠点施設に関する市の方向性（イメージ）

多世代交流拠点施設に関する市の方向性（イメージ） **お手元の資料をご覧ください**

■統合する2施設の概要

人権文化センター

人権文化豊かな社会を築くことを目的として、市民の福祉の向上並びに生涯学習及び地域交流の促進を図る開かれたコミュニティの場として、総合生活相談や人権啓発、にじのとしょかん及び人権資料室の運営、伝承文化公演会、貸館等の事業を行っている。

青少年センター

基本的人権尊重の精神に基づき、青少年の教養を高め、その健全な育成に資する施設として位置づけられており、概ね30歳までを対象とした多種多様な講習講座の開催をはじめ、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。

■多世代交流拠点施設に関する市の方向性

多世代交流拠点施設で実施する事業

<施設管理・運営>

- 施設の維持管理
- 貸し館の管理運営
- 自習室の管理運営
- 事業の周知・情報発信

<人権に関する事業>

- 人権啓発に係る講座やイベント、企画展示
- 人権啓発・伝承文化の講座
- 人権資料の収集・保管
- 人権資料室の管理運営
- YOU・優・ロビーフェスティバル

<各種相談に関する事業>

- 日常生活相談、人権相談
- 進路選択相談
- カウンセリング相談
- 子ども電話相談

<伝承文化保存継承に関する事業>

- 伝承文化公演会等の開催

<青少年育成に関する事業>

- ユースゼネレーション、ふれあいサタデー、野外活動などの講習・講座
- 青少年フェス（講座体験イベント）
- 青少年の自主的な活動への補助金
- 人権・防災・平和・環境・国際等の関連講座

<子育て支援に関する事業>

- 子育て支援に関する講座・講演会（ひまわりランド・親子読書等）
- 「おはなし会」等の読書普及活動

廃止する事業

<にじのとしょかんの運営>（人文センター）

- 図書貸出等
- 図書購入等
- 本の配送

※公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準に基づき、北部圏域の図書館として既に北部リージョンセンター図書室にて、必要面積等を確保のうえ整備しているため。

<施設管理・運営>（青少年センター）

- 施設の維持管理
 - 貸し館の管理運営
- ⇒両施設の機能を一つに統合。

<子育て支援事業>（青少年センター）

- 給食・おやつ ⇒他校同様、三季休については弁当を持参または宅配弁当事業で対応
- 施設開放 ⇒単独の施設ではないため廃止。
- どろんこ子ども会⇒施設一体型義務教育学校で他校と同じ留守家庭児童会に機能統合。

<自主活動の支援に関する事業>（青少年センター）

- 運営協議会 ⇒両施設の機能を一つに統合。

参考：施設一体型義務教育学校（小中一貫校）での取組みの方向性

- 子どもと地域のふれあい、学校と地域の連携が深まるよう、多目的室などの地域開放のほか、ブックフェスタをはじめとした読書活動の継承を目的とした学校図書館の開放などについても検討予定
- 他校と同じ留守家庭児童会の実施

多世代交流拠点施設に関する市の方向性（イメージ）

お手元の資料をご覧ください

■多世代交流拠点施設のポイント

施設構成の ポイント

- ① 既存の施設（人権文化センターや青少年センター等）の事業や機能を継承
- ② 1つの空間を多目的に使えるように構成（分割や合体が可能に）
- ③ 自然な交流が生まれる場、子どもたちが遊べる場を大きく



地域交流スペースのイメージ



自由ひろばのイメージ

多世代交流拠点施設整備のポイント

…新たな機能・特長…

- ・メイン空間に、自由に使える地域交流スペースを新設（ホールと一体利用も可）
- ・子どもが思いきり遊べる屋外活動スペースを用意

…整備できないもの…

- ・調理実習室
- ・市民文化ホール
- ・公共施設としてそぐわないもの

…小中一貫校・市営住宅集会所との機能連携イメージ…

（例）

- ・多目的室などの地域開放のうち、地域による「こども食堂」が実施可能なように、家庭科室（調理室）の施設配置も検討。
- ・入居者が参加する地域のイベント時に柔軟な集会所利用を図れるよう利用・運営ルールを今後検討

■諸室（案）

室名	実施事業・利用の想定
●相談室	* 相談、カウンセリング
●大会議室※1	* 人権啓発講座・イベント * 伝承文化公演会 * フェスティバル
●視聴覚教室	* 地域交流事業 ⇒各種クラブ活動、レクリエーション ⇒教養・文化・健康活動 ⇒親子・キッズスペース利用等
●貸室※1	* 講習講座 ⇒ユースゼネレーション等 * 大小さまざまなイベント・集会
●共用スペース※1	* 登録団体の活動（会合・打合せ等）
●地域交流スペース	* 自然な交流が生まれる開放的な空間（集まる・話す・見守る・遊ぶ） * 読み聞かせや地域交流イベント、展示など * 雑誌・新聞、絵本等の図書設置
●自習室	* 小学生以上の読書・学習の場

※1 可動間仕切り等で室を分割可能とする想定

室名	実施事業・利用の想定
●資料室 (展示スペース)	* 人権啓発の展示 * 人権啓発講座・企画展 * 人権図書等の閲覧
●人権資料 収蔵庫	* 書庫・収蔵庫
●執務空間	* 職員スペース
+	
●共用部分	* ホール・廊下、給湯、 トイレ、エレベーター等
+	
●屋外テラス	—
●自由ひろば (屋外活動スペース)	* 子どもが思い切り遊べる屋外活動スペース。プレーパークも可

* 自由ひろばのほか、市営住宅用地を含めた「とみまち広場」のオープンスペースでさまざまな活動・イベントが行われることを想定

集会機能

交流機能

読書・
学習機能

資料室
機能

事務所

共用

交流
(屋外)

2回目のテーマ

本日議論したい内容は、以下の2つです。

- ①新しい多世代交流拠点施設をどのように利用したいか、どんな活動をしたいか？
- ②自然な助けあいや、色々な世代が混じり合うためにはどうすればよいか？

グループディスカッションの進め方

2回目のテーマ

①どのように利用したいか、どんな活動をしたいか？

例) 貸室や共用スペースで行われる地域組織の活動



グループディスカッションの進め方

2回目のテーマ

①どのように利用したいか、どんな活動をしたいか？

例) 地域交流スペースや大会議室で行われる地域交流



グループディスカッションの進め方

2回目のテーマ

①どのように利用したいか、どんな活動をしたいか？

例) 屋外空間で行われるイベント

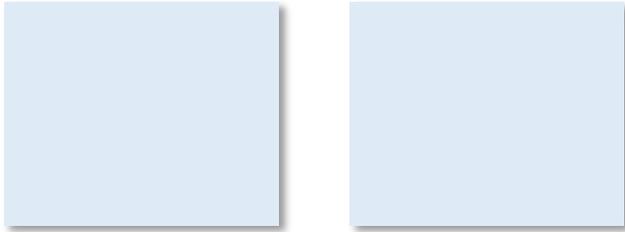


グループディスカッションの進め方

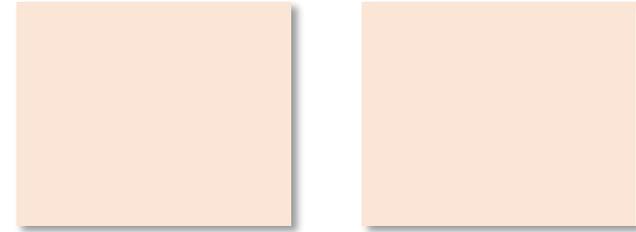
2回目のテーマ

①どのように利用したいか、どんな活動をしたいか？

区切られたスペースで行う室内の活動



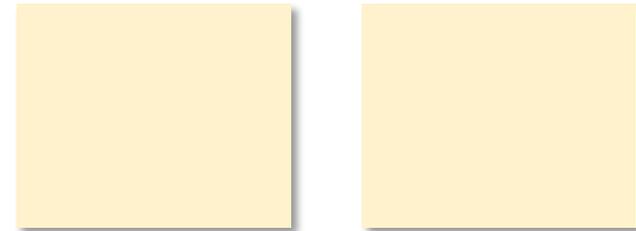
開放的なスペースで行う室内の活動



主に屋外や広場で行う活動



場所を限らずどこでも自由に行う活動



⇒おおまかに利用する空間を想像しながら、意見を考えてください

2回目のテーマ

本日議論したい内容は、以下の2つです。

- ①新しい多世代交流拠点施設をどのように利用したいか、
どんな活動をしたいか？

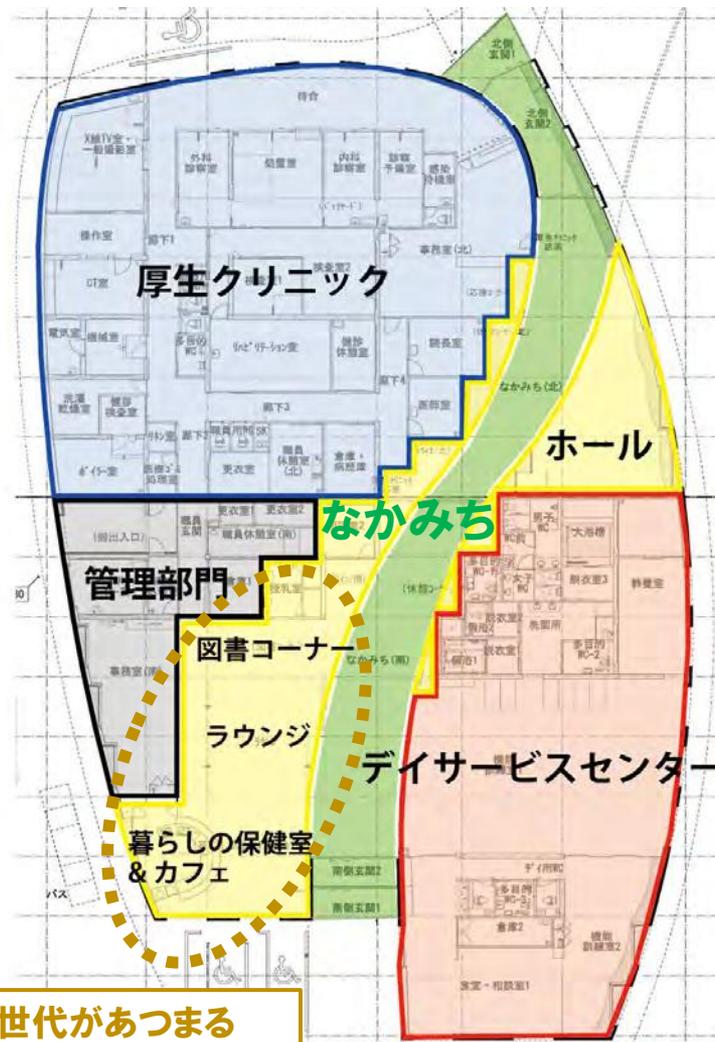
- ②自然な助けあいや、色々な世代が混じり合うためには
どうすればよいか？

グループディスカッションの進め方

2回目のテーマ

②自然な助けあいや、色々な世代が混じり合うためには？

北海道・沼田町「暮らしの安心センター」



例)

- 入口近くは常に人がいるようにする
- 区切りのない空間に複数の機能を設置する
- みんなが通る通路から活動が見えるようにする

グループディスカッションの進め方

2回目のテーマ

②自然な助けあいや、色々な世代が混じり合うためには？



例)

- 「まちの先生」を募集して、多世代の教え合いを促進する

- 世代を問わず気軽に参加できるイベントを開催する